

発行日 2025年4月15日  
発行人 田辺 証夫  
編集人 小堀 日出春

LMI世界宣教会はリーベンゼラ・ミッション・インターナショナル（LMI）に加盟している日本の宣教団体です。

## New York Report

ニューヨーク周辺邦人宣教・宣教師  
笹川雅弘・由利子

### 春のゴスペルワークショップ開始

3月10日（月）から春のゴスペルワークショップが開始されました。今回の参加者は大人32名、子ども21名となりました。帰国で参加できなくなる駐在員のご家族も多い中、毎回新しいメンバーが参加します。今回の新メンバーは大人8名、子どもが10名でした。

5月17日（土）のコンサートに向けて、毎週月曜日に教会でリハーサルが行われます。大人の練習後はいつでもバイブルスタディができるように部屋を確保しています。

2回目の練習終了後、大人のメンバーで昼食会の交わりを持ちました。一人一人が自己紹介を行い互いの親交を深めつつ、クリスチャンのメンバーからは福音のあかしも語られました。

### 牧師の自宅で派遣式

今年の3月で日本に帰国される四方千春姉の派遣式を牧師宅で行いました。四方姉は3年半の間、ゴスペル伝道でリーダーシップを取られ、多くの奉仕をされてきました。春のゴスペルワークショップから教会員の奉仕者が少なくなることをきっかけに、参加者全員が奉仕を分担して活動を支えていくことになり、今まで以上に皆さんが積極的に協力し合う体制となったことは感謝でした。

四方姉ご家族が日本の母教会に帰られた後も日本のゴスペルOBたちの連絡役をしていただきます。アメリカでの体験が帰国後も大いに活かされて、日本での伝道活動が豊かな実を結ぶことを願っています。

笹川雅弘宣教師を支える会（かもい聖書教会）  
電話：045-931-3312  
Mail: kimikuma1126@gmail.com  
HP: <https://nymissionsasakawa.wixsite.com/support>



①ゴスペルワークショップ後のランチ風景 ②ランチ後の記念撮影



四方千春姉（中央）の派遣式後にズーム参加者も一緒に記念撮影を行った

#### 【祈りの課題】

- 春のゴスペルワークショップに参加する求道者に語られる福音が信仰となって実を結ぶように。
- 笹川雅弘宣教師の帰国までの宣教活動が祝福され、実り豊かなものとなり、経済的にも健康的にも支えられるように。
- 日本で療養中の笹川由利子宣教師の守りと癒やしのために。

こういうわけで、いつまでも残るのは信仰と希望と愛、これら三つです。その中で一番すぐれているのは愛です。



熊久保公義  
LMI世界宣教会副理事長

## 隠れずにいるだけで

「あなたがたは世の光です。山の上にある町は隠れることができません」(マタイ5章14節)のみことばを読む時、私たちに期待されていることが何であるかを再確認させられます。

主は、「あなたがたは地の塩、世の光になる」と言われたのではなく、すでに「地の塩、世の光である」と語られました。ですから私たちが果たすべき使命は、自らを訓練して光を放つように努力することではなく、すでに塩や光とされている自分自身を世の中に隠さず



に表すことなのです。

当時のイスラエルの町々は、敵からの攻撃に備えて山の上に建てられました。ですから町は必然的に山の上であり、周りから見て隠れることができない存在です。キリスト者も同じように、キリスト者であるということに関して隠れることはできません。必ずその発言には塩気が生じ、感じることや応答することにもキリストによる光が表されることでしょう。

社会的・伝道的に大きな結果を出さなければならぬという意味ではありません。痛んでいる人がいれば隠れることなく寄り添うこと、ノンクリスチャンの前でも自分が感じていることを正直に話すこと等、日常生活の中で私たちは地の塩、世の光としての役割を果たすことができるのです。世界宣教に携わる際も、主によって造り変えられた者として祈り、執り成し、支援する者でありたいと願います。

(かもい聖書教会牧師)



## 新宣教師紹介

デボラ&ファビアン・クノース  
リーベンゼラ宣教師

## 「福音の光を届けたい」

今年1月に来日したデボラ(写真右)&ファビアン(同左)・クノース宣教師夫妻を紹介します。

デボラさんは、看護師としての資格を取得した後、リーベンゼラ宣教団所属の実践科学大学(Internationale Hochschule Liebenzell)で、異文化間の教育学と神学を学びました。



ファビアンさんはオペレーション・モビライゼーション(OM)の宣教船「ロゴス・ホープ」に2年間乗船した後、航空宇宙工学を学んで数年間エンジニアとして働きました。

二人は、言語と文化の学びを終えた後、日本の人々にとっての光となることを願っています。人間関係づくりや身近な伝道活動を通して、神様と信仰について宣べ伝えたいと考えています。

ファビアンさんは、将来的に日本でエンジニアとして働くことを目指しており、職場でも人間関係を築きながら、福音の光を届けることを願っています。

デボラさんとファビアンさんの語学学習と将来の働きのために祈りいただければ幸いです。

(グロー—ス・アンドレアス：  
LMI-Jチームリーダー)

# 色々、さんざん

バングラデシュ医療宣教師  
近藤 恵



みなさまお元気でお過ごしですか？  
極寒の冬がようやく終わるかと思いきや、山火事は多発、寒さは戻るなど穏やかに春を迎えることを許してもらっていない感じですね。

さて、私は12月にバングラデシュから一時帰国をし、ビザの延長を待っていました。そして3月初旬バングラデシュから、ビザの延長のために必要なsecurity clearance (注) が認められなかったという報告がもたらされました。「そうですか、神様。バングラデシュの働きのとびらは閉じられたのでしょうか？」と思っているところに、ジョイランクーラ・クリスチャンホスピタルのドクター・ルーシーからメールが来ました。

そして私のsecurity clearanceに関するニュース以外にも、悪いニュースがあったことが知らされました。まず、ジョイランクーラ・クリスチャンホスピタルの運営母体であるGBC-CHP (Garo Baptist convention Christian Health Project) の理事長のH氏が自殺したということ。H氏は、まだ若い元気はつらつな方でした。去年ドクター・ルーシーたちの新居完成のお祝いのお席でお会いしました。自殺の原因など詳細はわかりません。でもクリスチャンである彼が自殺するのは、悪の力が大きく働いたとしか思えません。このことで、病院は大きく揺れ動いているようでした。

さらに、ジョイランクーラの開設初期から働いていた手術室の元師長ヘニカ・ディディが病氣だということ。この方は非常に経験豊富で、私も手術などでたくさん助けてもらいました。もうリタイアの年齢ですが、延長しつつ働いていました。病氣になったことで、完全にリタイアとなりますが、この方がいないということは、大きな戦力の喪失です。

## 【近藤恵医療宣教師を支える会】

〒329-0403 栃木県下野市医大前3-7-1

☎0285-44-7564 自治医大前キリスト教会気付

E-mail: meg0\_02007@yahoo.co.jp

【現地】 Garo Baptist Convention  
Christian Health Project

Joyramkura.p.o. Haluaghat 2260

Mymensingh, BANGLADESH

あっちからもこっちからも攻撃の手があがっているようです。でも以下のみことばを思いました。

**「私たちは四方八方から苦しめられますが、窮することはありません。途方に暮れますが、行き詰まることはありません。迫害されますが、見捨てられることはありません。倒されますが、滅びません。」** (コリント人への手紙第二 4:8-9)

私のバングラデシュの働きは、これで終わりなのか、あるいは、何か他の道がありうるのか、今探っているところです。色々さんざんな中で主の守りを感じています。

最後に「色々 (16)、さんざん (33)」として覚えているみことばを紹介します。

**「世にあっては苦難があります。しかし、勇気を出しなさい。わたしはすでに世に勝ちました。」**

(ヨハネの福音書 16:33)



「聖書を読む会・祈りの時」の後、姉妹たちと話す近藤宣教師(左端)＝3月5日、自治医大前キリスト教会で、

(注) security clearance (セキュリティ・クリアランス) 外国人がバングラデシュで就労ビザを取得する場合に必要な証明書。たとえば、就労許可申請で申告している仕事内容がバングラデシュ人でも雇用可能なため外国人の雇用は必要ないとか、申告している給与額が低い…とかを理由に認めるのを渋るケースが多いという。

## 【祈りの課題】

- 試みの中にあるジョイランクーラ・クリスチャンホスピタルのために。特にリーダーシップをとるドクター・ルーシーのために。
- 自殺したH氏のご家族のために。
- ヘニカ・ディディが癒やされるように。
- ビザの延長が不可能に見える状況で、私が進めば良いのか示されるように。
- 無牧の自治医大前キリスト教会のために。
- 一人暮らしをしている母のために。
- 母と姉の救いのために。

## 2025年 LMJ 総会報告

2025年2月15日、かもい聖書教会を会場に、ZOOM併用という形で第33回LMJ総会が開催されました。本年度の予算案および活動計画案が主なる神の御心のうちに承認されました。出席者全員の一致した意見に基づき、今後の活動が順調に進展することを祈りつつ、新しい年度へと向かいました。

また、笹川宣教師のニューヨークでの活動が今年12月末をもって終了する旨の報告がありました。現時点では今後のNYにおける邦人宣教の見通しは立っておりませんが、全知全能の主に委ね、引き続き働きのために祈り、検討を続けていく所存です。

近藤恵医療宣教師は、N-ビザの取得を待ちながら、現時点でなすべき働きを誠実に続けておられる旨の報告がありました。バングラデシュの政情が不安定な中、行きつ戻りつの展開ではありますが、「みこころならビザは与えられる」との確信と平安をいただいて、お母様や教会のこと、また病院勤務などの責任を果たして行くことを祈り願っております。

ご支援くださる皆様には、引き続き祈りによるご支

援を賜りますようお願い申し上げます。共に信仰をもって歩み、主のみこころに従って、諸教会の祈りに励ましをいただきながら支援者の皆様と共に活動を続けていくことを願っております。皆様の祈りのうちにあるご協力とご支援に心より感謝申し上げます。

(田辺証夫)



「子どもバイブルキャンプ」で聖書の話に耳を傾ける子どもたち=2024年8月、ニューヨークで

### 理事会便り

- ★毎月第一金曜日行われている「LMJ祈禱会」に是非ご参加ください！お問い合わせは事務局まで。
- ★近藤恵医療宣教師：N-ビザ延長のために。またジョイランクーラ・クリスチャン・ホスピタルの必要のためにお祈り下さい。同刻の祈りにもご参加ください。
- ★笹川雅弘・由利子宣教師夫妻：単身赴任中の雅弘宣教師の働きのため。由利子宣教師の療養と癒やしのため。笹川宣教師のニューヨークでの6月

- までの奉仕、また帰国後のデビューションが最後まで守られますように。たんぼぼミニストリーの祝福のため、人的・経済的な必要が、記録的な円安が続く中でも満たされるように続けてお祈り、お支えください。
- ★各宣教師を支える会、理事会：宣教師を正しくサポートするために用いられますように。宣教師志願者が起こされた時の十分な備え。
- ★JOMA、メンバーケアミーティングなどの他団体との働きが祝福されますように。
- ★世界宣教への思いがある方、ご連絡ください。ともに祈りましょう。
- ★ホームページ (<https://liebenzell.jp.org/>) =QRコード=が周知され、祈りと支援の輪が広げられるために用いられますように。



【祈り】「何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい」のみことばをもって、これからもLMJを用いて働かれる主に期待します。  
(田辺証夫・LMI世界宣教会理事長)

## LMI世界宣教会 (LMJ)

(LMJ 本部 & ☎226-0003 横浜市緑区鴨居2-29-4(かもい聖書教会会付 ☎&Fax 045-931-3312)

会計事務局) Homepage: <https://liebenzell.jp.org/> E-mail: LMJ@outlook.jp

→ 献金送金の際、「ゆうちょ銀行通帳」から電信振替(ATM)をご利用されると振替用紙より割安で送金できます。

(LMI) <http://www.liebezell.org/>(ドイツ語), [www.liebenzell.ca/](http://www.liebenzell.ca/)(英語) 郵便振替 00110-1-91993「LMI世界宣教会」

【常任理事】田辺証夫(理事長 [lmijapan.tanabe@gmail.com](mailto:lmijapan.tanabe@gmail.com)) 熊久保公義(副理事長&書記) 村上正道(会計)

グロース・アンドレアス(LMI担当) 小堀日出春(Bg, VOICE編集) 立石聖美 【協力理事】木島正敏 兵藤陽子 立石尚志

【監事】野村卓一、佐藤陽一 【会計事務】安藤真里 佐藤かおり